

ワーク1・ワーク2は、はじめの数分を「個人で考える時間」にあてます。このシートは**お一人1枚**です。書いた内容をグループに持ち寄り、A3のシートに集約します。**きれいに書く必要はありません**。人と違う判定になっても、そのズレ自体が議論の材料になります。

ワーク1 ポリシーの検証 個人 6分 → このあとグループ 18分

手元の資料から**気になる記述を2～3つ**選び、ダッシュボードと突き合わせて**自分なりに判定**してください。

◎ データが記述を支持している / △ データと乖離がある / ? 検証不能（そもそも測っていない） 「?」を**最低1つ**見つけるのが目標です。

#	気になる記述（ポリシー・求める学生像から）	判定 ◎ / △ / ?	そう判定した理由・根拠にした数字
1			例: ③で年内比率54%だが、⑦で退学率に差が出ていない
2			
3			

ワーク2 打ち手の設計 個人 5分 → このあとグループ 17分

ワーク1で見つかった課題に対して、**打ち手のアイデアを2つ**書き出してください。起点は**入試 / オープンキャンパス / 入学前教育**のいずれかから選びます。「**効果を何で測るか**」まで書けたら**完成**です（思いつかなければ空欄で構いません。グループで埋めます）。

#	起点 入試/OC/入学前教育	打ち手（何を、どう変えるか）	効果を何のデータで確認するか
1			
2			

グループに持ち込む「これだけは言いたい」 上のうち、自分が一番押したいものに○をつけ、一言で理由を書いてください。